キャラクター名
緑河 茶柱

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ エグザイル	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	UGNエージェント
オプショナル		年齢	20歳(本当は4歳)	性別	女の子(牝)
覚醒	無知	衝動	闘争	初期侵食率	36 %
出自	人類への興味	経験	親友	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	2			8
感覚	1	0	0			1
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	37
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1	3	射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1	2	知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
強化服	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
三竹 一豊	P 信頼	N 不安		
緑河 一茶	P 尊敬	N 疎外感		
サニーブルースカイ	P 庇護	N 隔意		
PC3(香坂)	P 連帯感	N 嫉妬		
PC2(セリオン)	P 親近感	N 不信感		
PC1(夕立)	P 好奇心	N 憐憫		
春日 恭二	P 執着	N 憤懣		

最大財産P: 4	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
オリジン:アニマル	1	3	マイナーアクション	至近	自身	自動	RB	
効果： シーン間、素手の攻撃力を+[Lv*2]する※素手を除くアイテムが装備不可となる								
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	自動		
効果： シーン中、肉体の能力値を使用した判定ダイス+[Lv+2]個								
破壊の爪(蹄)	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 素手のデータを変更 種別:白兵 技能:白兵 命中:0 攻撃力:+[Lv+8] ガード値:1 射程:至近								
セントールの脚	2	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果： シーン中の戦闘移動の距離+[Lv*5]m マイナーアクション使用で解除可能								
爪剣(蹄)	2	3	メジャー	武器	単体	対決		
効果： 組み合わせた白兵攻撃の攻撃力+[Lv*2] ドッジ判定ダイス-1個								
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果： 組み合わせた判定のクリティカル-1(下限は7)								
ヒューマンズネイバー	1		常時		自身		RB	
効果： 衝動判定のダイスを+[Lv]個する								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

経験点14 保留中

栗色 #762f07
元々は競走馬「キッチョウチャバシラ」として生を受けたサラブレッド
生まれつきのRBとして何となくではあるが、「人間の言葉を"意味を測ることは出来ずとも"理解する」ことが出来た
その力が突如現れたのは生後一年頃のとある日、セレクトセールで馬主及び所属厩舎が決まって生産農場から離れた直後の忙しい日だった
その日、馬主の緑河及び厩舎の一部担当者たちは騒然となった
何故なら本来馬がいるはずの場所に獣耳の生えた幼児がひとり、というあまりにもおかしな状況だったからだ
ヒトの姿をとれるようになった茶柱(イメージはONEPIECEのチョッパー)の扱いに困惑しきっていた彼らに対して、どこからか情報を得たUGN日本支部の幹部(関係者とコネがあったかもしれない)が介入
色々あって「情報統制及び本来の競走馬としての活動のサポート」と引き換えに「茶柱をUGN管理下に置く」ことで合意となった
(この時点で存在を隠匿するには新馬戦のスケジュールとか諸々の関係で関わる人の幅が広がりすぎて難しかった…という妄想)
かくして競走馬とUGNエージェントの二足の草鞋を履くこととなった茶柱は、本来の姿での鍛錬、レースへの出走
UGNでは育成担当から言葉を教わり人間社会での身の振り方を学んでいった
「オーナー」こと馬主の緑河の苗字をもらって表向きは「緑河 茶柱」と名乗っている
現在は厩舎に近いN市のUGN支部所属の扱いになっており、貴重な前線担当として活躍している
生きていく上で制約は多いが、皆が自分のために色々してくれているのだと何となく理解しているので周りの人々に対して概ね好意を抱いている
知識欲が深いので新しい言葉、単語等に貪欲に反応する
「〇〇で見ました！」と台詞等を引っ張ってくるが何故か内容が少年漫画に寄っている(オーナーがジャンプ系漫画を与えているから)
(EDUの高くないRPを心がけたいところ…)

競走馬としての成績